

令和7年度支援プログラム 振り返り そら

令和 8 年 2 月 1 日

事業所理念	そらは様々な遊びを通じて、楽しくわくわくした充実した生活を支援します。Action(行動する)、Sociality(社会性)、Imagination(想像、創造)、Communication(伝える)の4つの力、視点から支援を行います。	営業時間	第1単位 10:00～17:30 第2単位 9:00～17:00
支援方針	①新しい環境での生活に慣れる。 ②活動の幅を広げたり、社会経験を増やしたりしていく。 ③活動を通して、興味・関心を増やしていく。	送迎実施の有無	有

※受け入れ施設の都合や感染症の流行等により、支援内容をやむを得ず変更する場合があります。

5領域		ねらい	支援内容		
本人支援	健康・生活	健康状態の維持・改善	健康状態の把握	手洗いや靴の片付けが習慣化するよう声かけ、見守り、手本を見せる等の支援を繰り返した。うがいの練習を繰り返すことで口に水を含み吐き出すことができ、手洗い後にうがいをしようとする習慣がついた。	
		生活リズムや生活習慣の形成	健康の増進	動線に配慮した環境設定をして物の定位置を分かりやすく示したり、一緒に片付けたりすることで靴や持ち物などを自分で準備・片付けることができた。	
			リハビリテーションの実施	おやつ作り、外食、収穫を通じて様々な食材を食べる経験を積んだ。また、前向きな声かけを行うことで挑戦する姿が増えてきている。	
	運動・感覚	姿勢と運動・動作の向上	基本的な生活スキルの獲得	構造化等により生活環境を整える	
			姿勢と運動・動作の補助的手段の活用	姿勢と運動・動作の基本的技能の向上 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用	靴の着脱や立つときの姿勢、車内や教室内での正しい座り方を伝えて毎日繰り返すことで基本的な動作や正しい姿勢で座れるようになってきた。個々の特性や体の大きさに応じて適したサイズの椅子や机を提供し、個別に支援を行った。
		保有する感覚の総合的な活用	身体の移動能力の向上 保有する感覚の活用	散歩や体育館活動などで体を動かす活動を日常的に行い、基礎体力やバランス感覚を養った。散歩では平坦な道から傾斜のある道、階段と体力に応じて段階的に様々な道を歩く体験ができるよう場所やルート選びをした。	
	認知・行動	認知の発達と行動の習得	感覚の補助および代行手段の活用	感覚の特性(感覚の過敏や鈍麻)への対応	空間や物の概念がつくよう、それぞれの場所でのすべき行動や物の使い方を伝えた。支援室や車内など様々な場所や場面で、職員と一緒に繰り返し行くと、何をやる場所なのか分かるようになり自発的な行動につながった。認知することにつながったが、行動に移すことが難しかったり時間がかかったりしたため、個々に応じた見守り、声かけ、付き添いが必要であった。
		空間・時間、数等の概念形成の習得	認知や行動の手掛かりとなる概念の形成	数量、大小、色等の習得	外出先では職員と一緒に決められた場所で活動することや「集まれ」の号令で集合することを日々行い、場所、活動の始まりや終わりを理解して行動できることが増えた。
		対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得	認知の偏りへの対応	行動障害への予防及び対応	
	言語・コミュニケーション	言語の形成と活用	言語の形成と活用	挨拶、スキンシップ、ハンドサインを用いたやりとりをすることで相手とコミュニケーションを図ることができ、人との関わりの機会が増えた。	
言語の受容及び表出		受容言語と表出言語の支援	集団の前に出て話をしたり、話を聞いたりする機会を設け、相手に伝えることや相手の方を見ること意識づけができた。		
コミュニケーションの基礎的能力の向上		人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得	イベントの写真を用いてポスターを作成・掲示することで、イベントの内容を振り返ったり、他利用者の名前や顔を覚えていくきっかけになった。写真を見ながら、「また行きたい」などと楽しみや思いを伝えることができていた。		
コミュニケーション手段の選択と活用		指差し、身振り、サイン等の活用 読み書き能力の向上のための支援	コミュニケーション機器の活用	名前を呼びかけて一対一で挨拶をしたり、スキンシップを図ったりすることで職員の名前や顔を覚えることができた。活動では交流を図るため少人数ずつのグループで着席するよう座席を工夫したり、利用者の名前を1人ずつ呼んだりすることで、他利用者の名前や存在を認識するきっかけとなった。	
人間関係・社会性	他者との関わり(人間関係)の形成	自己理解と行動の調整	自己理解とコントロールのための支援	約束事を分かりやすく伝え、必要に応じて職員が介入しながら集団の中で活動すること、他者と関わりながら過ごすことを日常的に経験することができた。	
		仲間づくりと集団への参加	模倣行動の支援		
	家族支援	連絡帳や引継ぎで家族のニーズや困りごとを聞き取り、事業所での様子や支援を伝え、障害特性に基づいた助言を行った。			
職員の質の向上に資する取組	年間計画や安全計画に基づいた研修や訓練、事業所内での話し合いや指導を行い、職員の支援の質の向上に努めた。				
地域支援・地域連携、主な行事	別紙①参照	移行支援	別紙①参照		

※1 上記以外にも個別支援計画に沿った支援を適宜行っております。

※2 ☆印はイベントを想定した支援内容になります。